ボーリング柱状図

調査名	一般国道375号(引宇根工区)道路改良事業に伴う測量・地質調査・解析等業務(交付金)
事業・工事名	

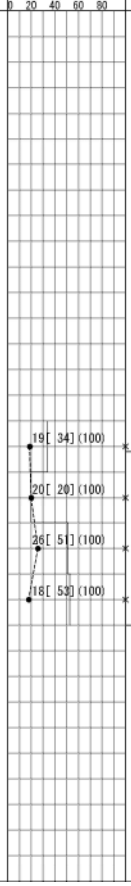
ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	3	0	0	0

シートNo.

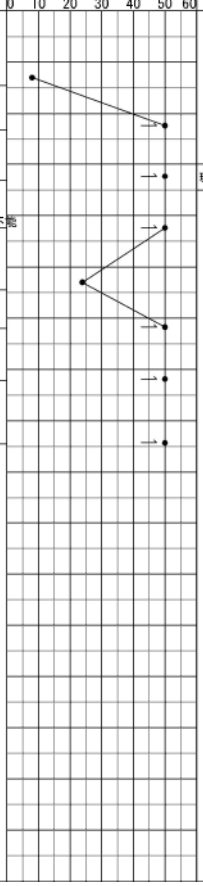
ボーリング名	BP-2V	調査位置	広島県三次市日下町地先			北緯	34° 48' 19.5660"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成28年 7月 2日～平成28年 7月 5日			東経	132° 47' 20.5560"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	160.49m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	30° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-48型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	12.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
	159.59	0.90		砂礫	暗褐						φ20～30mm位の亜円～亜角礫混じる。礫径はmaxで50mm、マトリックスはシルト混じり砂で有機質を呈する。	
1	158.99	1.50										
2				玉石混り砂礫	明褐						崖錐堆積物と考えられる。	
3											玉石(φ100～400mm)を多量に混入する。岩種は石英安山岩起源。玉石は全体の30～40%程度を占める。	
4												
5											マトリックスは礫混り砂。礫径は2～10mm位、最大50mm位である。粘成分が若干混じる。	
6												
7												
8	151.89	8.60										
9				流紋岩質溶結凝灰岩	暗青灰	C	Ⅲ	c	γ	1	コア柱状～短柱状を呈する。縦方向と45°位の亀裂が多い。	CL
10											亀裂が多い区間では岩片化～砂礫状を呈する。やや硬質。亀裂部は褐色を呈し、強風化している。	
11											GL-9.7m～10.2m付近、褐色の狭在物を挟む縦亀裂あり。亀裂は密着している。	
12	148.49	12.00									GL-10.4m～10.6m付近、30°位の褐色の狭在物を挟む。亀裂は若干開口。柱状コア部には、潜在亀裂がある。	
13												
14												
15												
16												
17												

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]



孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数/貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験
	1.15 / 1.45	8/30			
7/4 2.75	2.15 / 2.32	50/17			
	3.15 / 3.32	50/17		3.00 現場透水 3.50	
	4.24	貫入不能			
7/5 6.04	5.15 / 5.45	24/30			
	6.15 / 6.20	50/5			
	7.15 / 7.22	50/7			
	8.40 / 8.45	50/5			



掘進日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
	200	100	S/MC	100～400	60			
	89							
	215							
7/2	100			100～200	180			
	52							
	88							
	79	90	HW/DI			0	泥水/7	0
7/4	77							
	127							
	113			100～300				
	83			100～400				
	102							
7/5	148	66	HW/DI	400		0	泥水/15	0